

# 校章の描き方 約30cmのもの

(原形)

## 外形の部

(その1)

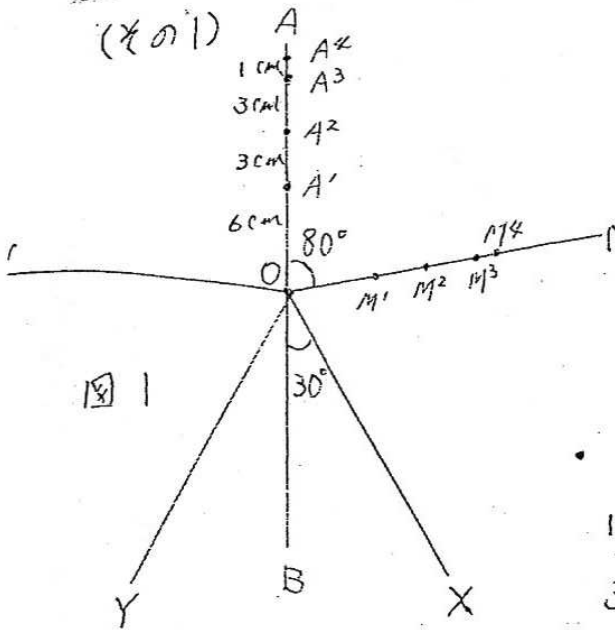


図1

- 中心Oを決め、Oを通る直線A, Bを縦に引く。
- Oを通り、直線ABから80°の直線Mを左、右に引きOM, ONとする。
- Oを通り直線ABから30°の直線を左、右に引きOX, OYとする。
- OからA, M, Nに向かって6cmの位置にA' M' N'をとる、A' M' N'から3cmの位置にA<sup>2</sup> M<sup>2</sup> N<sup>2</sup>をとる。
- A<sup>2</sup> M<sup>2</sup> N<sup>2</sup>から3cmの位置にA<sup>3</sup> M<sup>3</sup> N<sup>3</sup>をとる、A<sup>3</sup> M<sup>3</sup> N<sup>3</sup>の位置から1cmの位置にA<sup>4</sup> M<sup>4</sup> N<sup>4</sup>をとる。

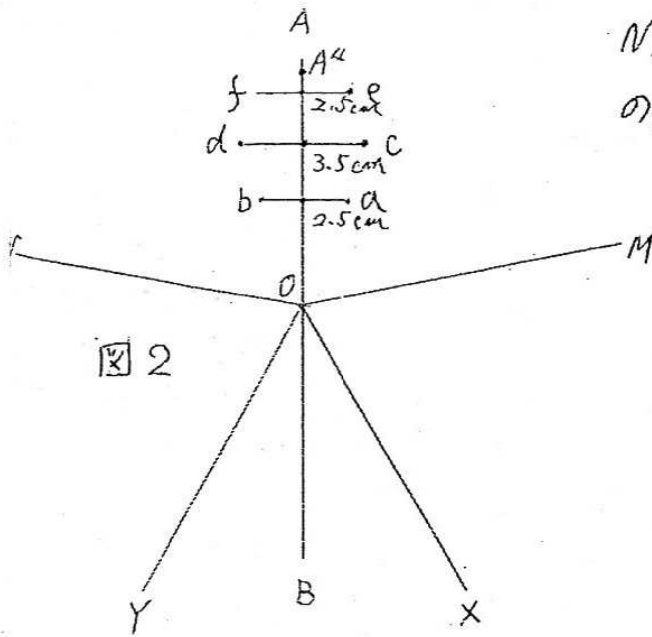


図2

- A' M' N' に直交し2.5cmの位置にa, bをとる。
- A<sup>2</sup> M<sup>2</sup> N<sup>2</sup> に直交し3.5cmの位置にc, dをとる。
- A<sup>3</sup> M<sup>3</sup> N<sup>3</sup> に直交し2.5cmの位置にe, fをとる。
- OM, ONについても同じようにする。
- a, b, c, d, e, f, A<sup>4</sup> M<sup>4</sup> N<sup>4</sup>より半径2.5cmの円の四弧を画き、その交点を結んでゆくと上部三枚の葉ができあがる。

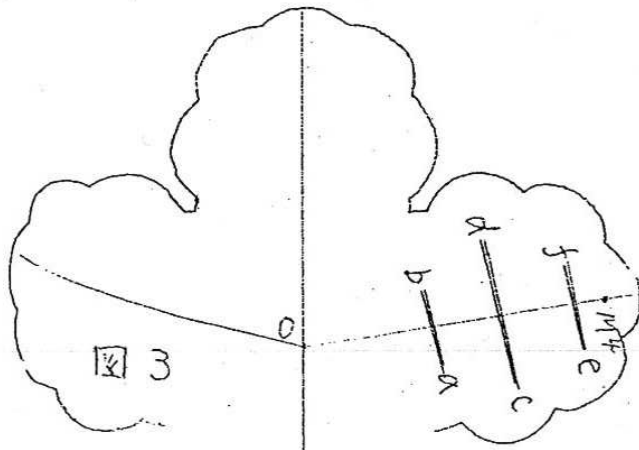


図3

(その2)

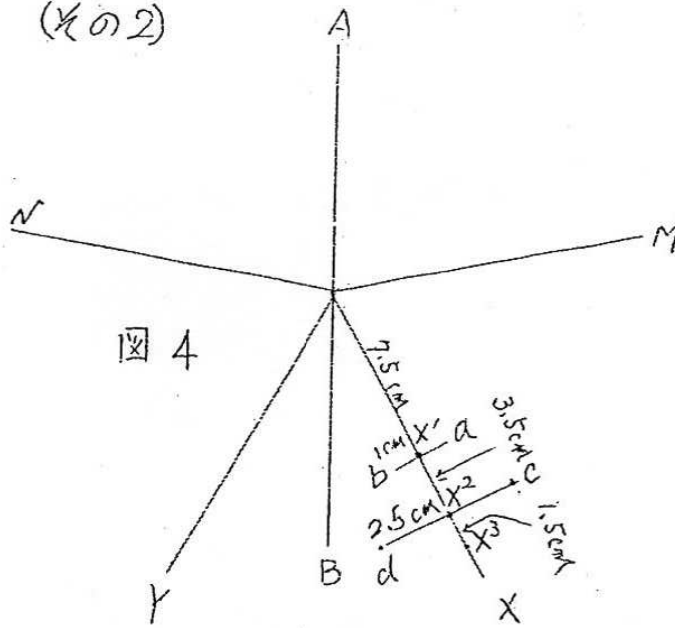


図 4

- O から X, Y に向かって 7.5 cm の位置に X' Y' をとり, X', Y' から 3.5 cm の位置を X<sup>2</sup> Y<sup>2</sup> とし, さらに 1.5 cm の位置を X<sup>3</sup> Y<sup>3</sup> とする。
- X' Y' に直交し 1 cm の位置に a, b をとる。
- X<sup>2</sup>, Y<sup>2</sup> に直交し 2.5 cm の位置に c d をとる。

- a, b, c, d, X<sup>3</sup>, Y<sup>3</sup> より半径 2.5 cm の円の円弧を描き, その交点を結んでゆくと下部二枚の葉ができあがる。(二枚の葉は完全に結ばれない。

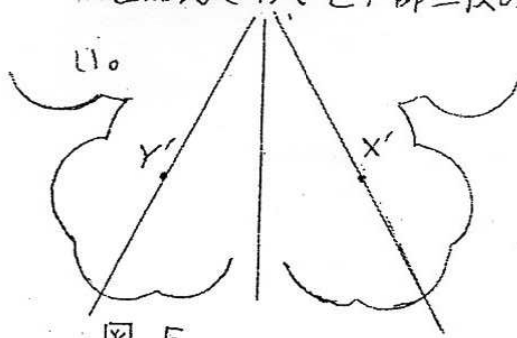


図 5

- X' Y' から 5.5 cm の半径の円で円弧を描き下部二枚の葉を結ぶ。これで楯の葉(外形)は, できあがる。
- 外形 O X, O Y の交点から 1.5 cm の切りこみを入れる。(図 6 参照)

葉脈の部

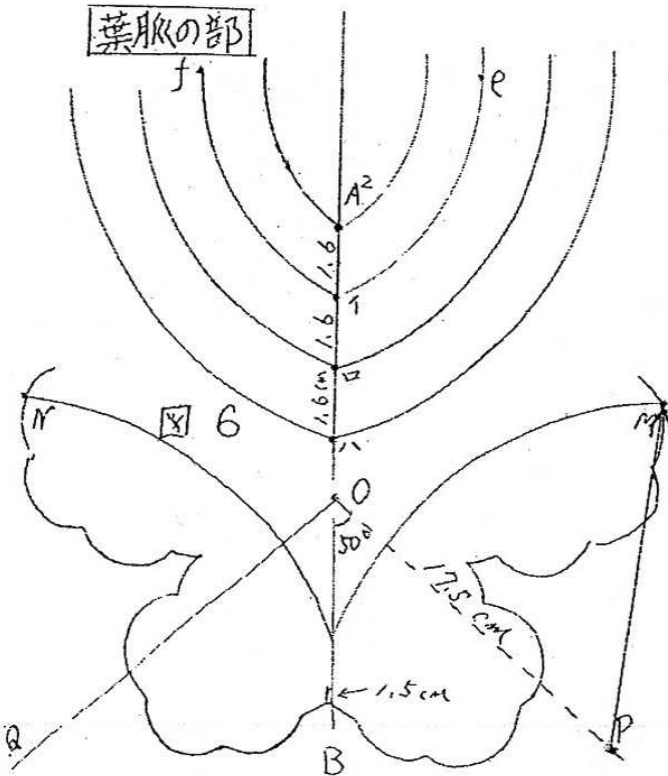


図 6

- 点 A<sup>2</sup> を基点として, 直線 O A 上に向って 1.6 cm の間隔で I, K, H をとり(図 2, e, f) e, f を中心として, A<sup>2</sup>, I, K, H の点を通る円弧を描くと O A の葉脈となる。
- 図 1 の直線 A B から中心 O を通り下方 50° の直線を引き 7.5 cm の位置を P, Q とする。
- P, Q より M, N を通り直線 A, B に達する円弧を描く。

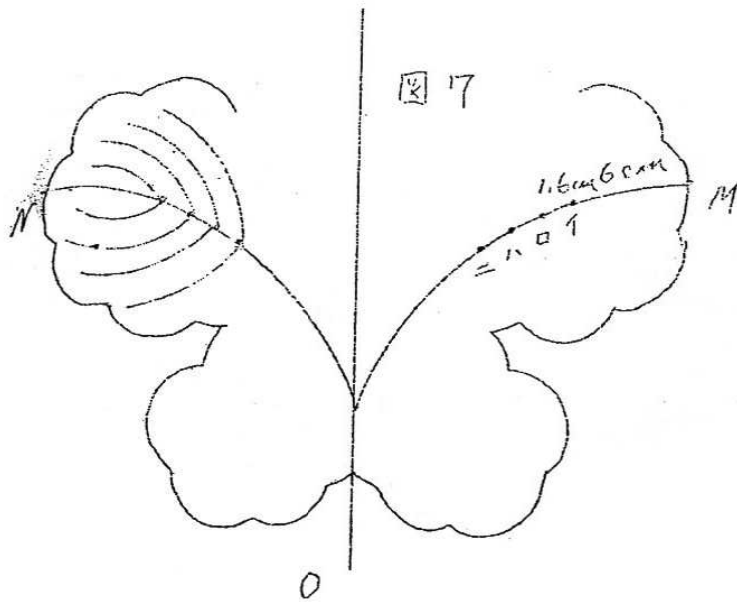


図 7

• 左図(図 7)のM, Nから6 cmの位置で円弧との交点にイをとり, イを基点として1.6 cmの間隔に, ロ, ハ, ニをとり図3の, e, fを中心としてイ, ロ, ハ, ニを通る円弧を画くとOMONの葉脈となる。

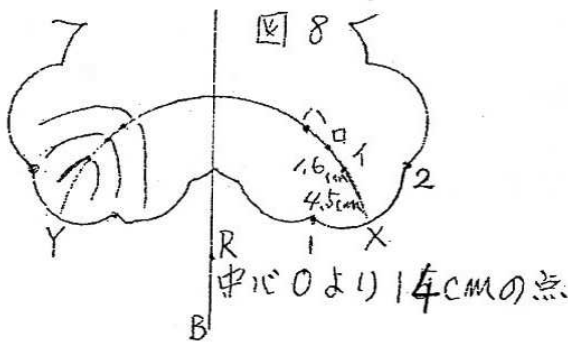


図 8

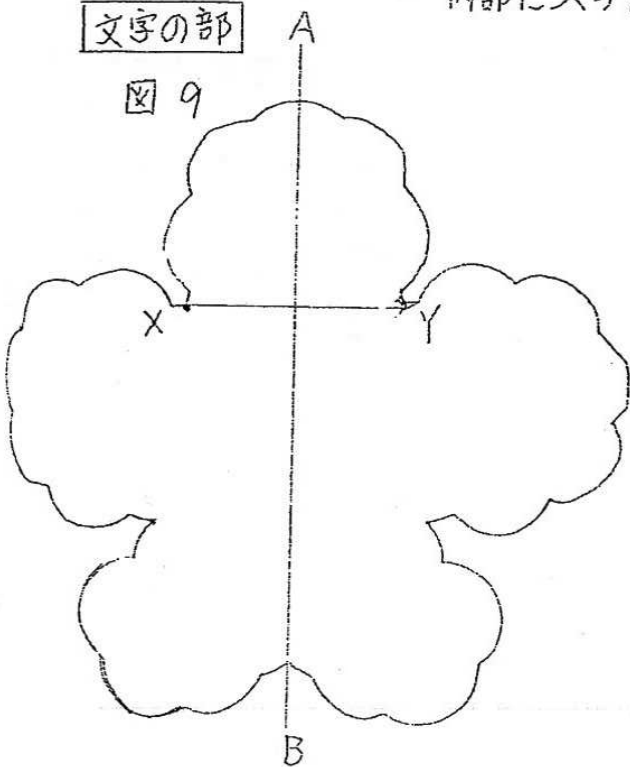
• 中心OよりBに向かって1.4 cmの位置をRとし, Rを中心としてX, Yを通る円弧を画く  
• 図8. X, Yから4.5 cmの位置で円弧XYとの交点をイとし1.6 cm間隔にロ, ハをとる。

• 図8. 1, 2を中心にしてイ, ロ, ハ, ニを通る円弧を画くとOXOYの葉脈となる。(葉脈は図1の, A, B, N, M, X, Yから1 cm

内部に入った点から五角形を画き, その交点までとする)

文字の部

図 9



• 図9の直線AB, XYを基線として画く。  
• 文字の縦は13 mm 横は9 mm 幅で画く。

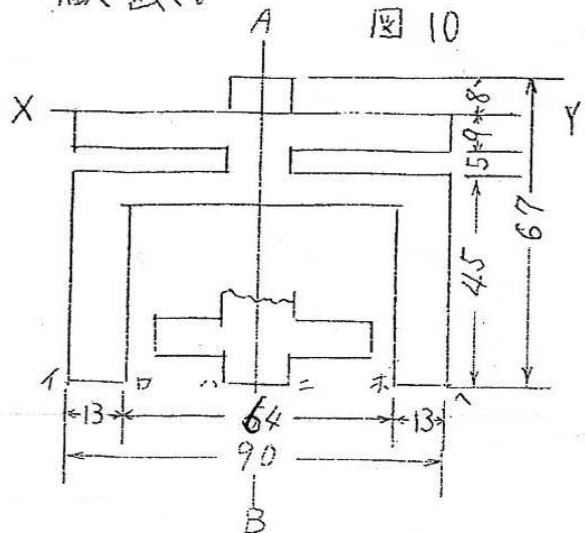
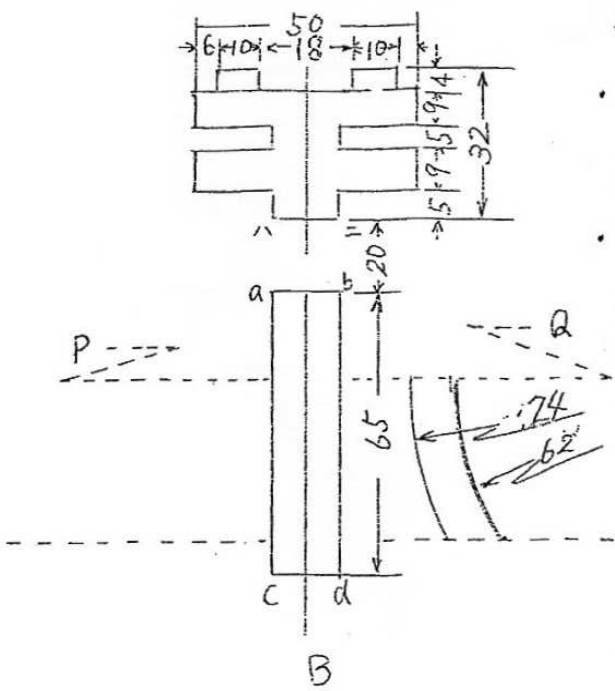


図 10

図 11



- ・ 図 10 のイ、ロ、ハ、ニ、ホ、へは同一線上にある。
- ・ 小の中心の棒は南のハ、ニ(図 11)から 2cm はなれ 6.5cm の長さである。
- ・ 図 11 の a、b より 2cm さがった点から A、B に垂直に 9.5cm はなれた点 Q、P を決める。
- ・ 図 11 の c、d から上に 8mm の点から A、B に垂直な線 X、Y を引く。
- ・ 点 P、Q から 6.2cm の半径で円弧を画く
- ・ 同じように P、Q から 7.4cm の半径で円弧を画くと文字ができあがる。

・ 文字に交わる葉脈は文字の bmm 前で切る。

**色彩の部**

- ・ 文字は金色とし葉脈は銀色とする。
- ・ 地色は、ふかみどり(ビリジャン)とする。 村田 宏 次

み  
ち

みち道(踏)の語源は、(一)ミは発音語、チは通路の義、(大言海)  
 (二)ミはアエミの義、チはツチ(土)の義(日本釈名)  
 (三)ミは真の義、チは祈の意(類聚名物考)  
 (四)ミウチ(真内・真中)の義  
 「日本語源学」だそうである。

青木 一 佳

諏訪大社の紋所の樞の葉を集め大の字形に図案化した。児童の団結と大きく手を広げのびのびと成長する姿を、あらわしています。  
 南小の文字は、規律正しさを強調するために道線を主体にした。  
 昭和五十年十二月十五日制定